

『論文を正しく読み書くためのやさしい統計学 改訂第2版』 正誤表2（修正版）

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございます。

本書（2010年9月30日印刷分，2011年3月10日印刷分，2012年7月30日印刷分）に，下記のような誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに，謹んでお詫び申し上げます。

※2013年6月10日にHP掲載した「正誤表2」には誤りがございました。

本表は，「正誤表2」に修正を追加したものです（表内朱字部分）。

恐れ入りますが，2013年6月10日の「正誤表2」は本表「正誤表2（修正版）」にさしかえていただきますようお願い申し上げます。

謹んでお詫び申し上げます。

箇所	誤	正
28 ページ 下から3行目～	・・・あると高血糖になるリスクが <u>2.62</u> 倍高くなり，その 95%信頼区間の下限が <u>1.58</u> で上限が <u>4.34</u> である．すなわち，95%の確からしさで，脂肪肝があると，ないよりも高血糖のリスクが少なく見積もっても <u>1.58</u> 倍高くなるということになる．	・・・あると高血糖になるリスクが <u>3.51</u> 倍高くなり，その 95%信頼区間の下限が <u>2.16</u> で上限が <u>5.70</u> である．すなわち，95%の確からしさで，脂肪肝があると，ないよりも高血糖のリスクが少なく見積もっても <u>2.16</u> 倍高くなるということになる． ※29 ページの表 4 の数値変更に伴い，本文の数値も変更する必要がありましたが，変更していませんでした．
29 ページ 表 4 Men and Women の OR(95%CI)	<u>2.62</u> (<u>1.58</u> — <u>4.34</u>)	<u>3.51</u> (<u>2.16</u> — <u>5.70</u>) ※前回正誤表では，95%CI として「Wolf の方法」で計算した値を掲載していましたが，表 4 の Men, Women は「検定統計量を用いた方法」により計算した値ですので，Men and Women についても同様に「検定統計量を用いた方法」で計算する必要がありました．
53 ページ 表 4 セル A17	この P 値は，表 1 で求めたカイ 2 乗値・・・	この P 値は，表 2 で求めたカイ 2 乗値・・・

以上

2015 年 6 月 1 日 診断と治療社 編集部